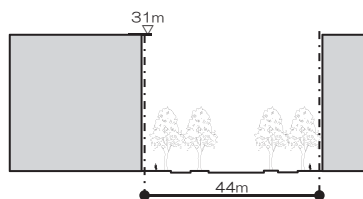


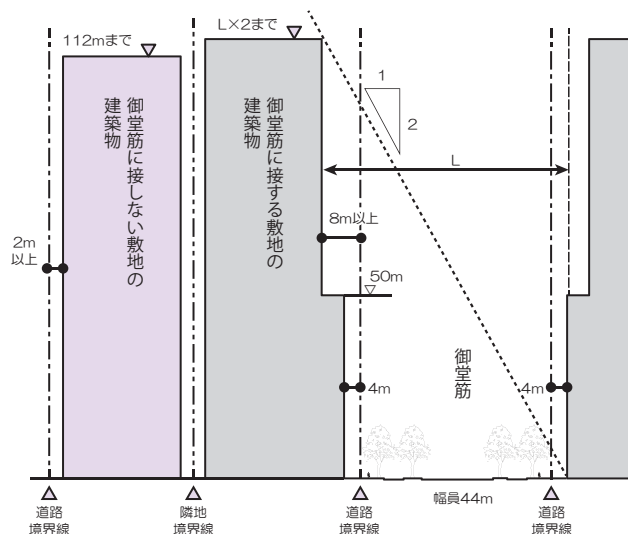
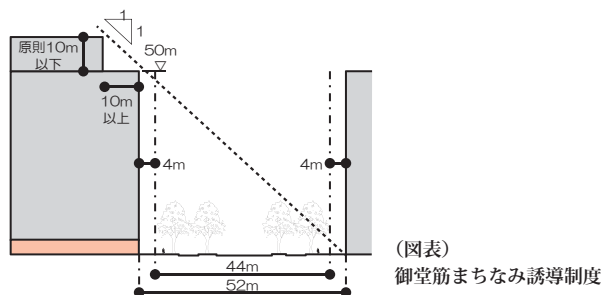
# 御堂筋のまちづくり施策

## まちづくり施策の変遷

- 31mのスカイラインは、約40年前の高度成長期に形成されました。
- 昭和44年には、建築基準法の改正で、容積率が指定され、31mの高さ規制が廃止されますが、淀屋橋から中央大通間が統一的な景観が形成されていたことから、大阪都市計画地方審議会の附帯意見にもとづき、31mは行政指導により継承されました。



- 平成に入り国際化や高度情報化に対応した大阪のシンボルストリートとしての役割が求められることとなります。平成6年には新たな50メートルのスカイラインの形成をめざし、淀屋橋～中央大通間において「御堂筋まちなみ誘導制度」が創設されました。
- 以後、平成26年に制度が廃止され、現在では地区計画や御堂筋デザインガイドラインにおいて規制誘導を行っています。



## 淀屋橋オドナと本町ガーデンシティ

- 平成14年には、大阪駅周辺・中之島とともに御堂筋周辺地域が都市再生緊急整備地域に指定されました。
- そして、平成16年(淀屋橋地区)及び平成19年(本町三丁目南地区)には都市再生特別地区が指定され、高さ制限の緩和を図った「淀屋橋オドナ」が平成20年に、御堂筋に結節点やランドマークの機能をもたせた130メートルを超える高層ビル「本町ガーデンシティ」が平成22年にオープンしました。
- こうした建物の低層部には、ショップやレストランなどが並び、御堂筋のあらたなにぎわいを与えています。



(写真) 淀屋橋オドナ



(写真) 本町ガーデンシティ

## 公民連携

### 御堂筋デザインガイドライン

- 御堂筋エリアの将来像と、御堂筋沿道における景観形成だけでなく幅広い視点からのまちなみ創造の作法を共有するための羅針盤として、御堂筋デザインガイドラインを作成しています。



(写真) 沿道建物による美しいビスタ景観



(写真) 高級なにぎわいのあるまちなみ



(写真) 壁面後退部でのにぎわい形成



御堂筋完成80周年記念事業 2017

世界最新モデルとなる、人中心のストリートへ。

詳しくは御堂筋完成80周年のホームページをご覧ください。

<https://mido-suji80.info/>

